

2015年度（前期）指定公募①

「市民の集い開催への助成」

完了報告書

テーマ：「在宅医療」知っていますか？家で最期まで療養したい人に。
～豊かな人生の最期のために。生活リハビリを通して～

申請者：【氏名】 岩田 勝利 【職名】 理学療法士

【所属機関】 訪問看護ステーションらふたーらいふ

【所属機関所在地】

〒880-0056

宮崎県宮崎市神宮東2丁目3-55 河崎ビル 203

(TEL) 0985-35-7410

(FAX) 0985-35-7411

助成対象年度：2015年度前期

提出年月日：平成27年12月15日

感想：

今回、家で最期まで療養したいと思っている方々に「在宅医療」を知ってもらう為、また、家で最期までその人らしく人生を過ごすためには、専門職だけが在宅医療や在宅リハビリの理念を理解するのみでなく、療養者や家族が共通理解として理念を共有することが必要と考え、市民の集いを開催させていただきました。

今回、265名の参加をいただき、参加者の中に高齢者や療養者の家族と思われる方のみならず高校生の姿も見られました。以前は専門職が参加者内訳の大多数を占めていた印象がありましたが、年々一般市民の方の参加が増えている印象にあり、また内訳も幅の広い年齢層になっていると感じ取れました。

このことは、市民の在宅医療への関心が高まっているという事に加えて、今後の地域包括ケアシステムの実現に向けて好材料なのではと思えました。

その反面、専門職には広く市民に「在宅医療」ならびに「地域包括ケアシステム」を知ってもらうだけの知識と工夫がさらに必要だと考えられ、専門職の多職種連携だけにとどまらず、広く市民を巻き込んだ連携を行っていくことが重要だと考えられました。

会では、まず、頸髄損傷を受傷後に社会復帰を遂げられた柳田哲史氏から「自分らしく、未来へ！」というテーマでご講演を頂戴し、受傷されてから社会復帰までの実際の過程や想いをお話しくださいました。実際の経験に基づくお話で、お気持ちの変化や社会復帰に至った経緯の話は、豊かな人生の最期を迎えるためにも必要で重要なお話でした。

シンポジウムでは、「豊かな人生の最期のために～生活リハビリを通して～」と題し、医師・訪問看護師・訪問ヘルパー・デイサービス・精神保健福祉士・訪問理学療法士の立場から、その人らしく生ききる為にどのようなことを行っていくことが大切かを、実例を交えてお話しいただきました。シンポジウム後の会場参加者からの質疑応答も活発に行われ、実際に家で療養されている方からその人らしく生ききる為の介護の考え方について質問があり、市民や専門職の垣根を超えた意見交換も行えました。それぞれの立場を超えた想いの共有まで行えたことは、今後の「地域包括ケアシステム」の実現に向けて、良かったのではと思っております。

今回、このような機会を与えてくださりまして誠にありがとうございました。

【公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団の助成による】

平成27年度 宮崎キュアケアネットワーク 市民参加型フォーラム
「在宅医療」知っていますか？

最期まで家で療養したい人に



日時

平成27年10月25日（日）13:00～16:30

場所

宮崎市佐土原総合文化センター 大ホール

入場料

無料

主催

宮崎キュアケアネットワーク
【<http://www.mcc-net.org/home>】

共催

宮崎県理学療法士会、宮崎県作業療法士会、宮崎県言語聴覚士会

後援

宮崎県 宮崎市
宮崎県医師会 宮崎県医師会在宅医療協議会 宮崎市郡医師会
宮崎県歯科医師会 宮崎市郡歯科医師会 宮崎県薬剤師会 宮崎県看護協会
宮崎県訪問看護ステーション連絡協議会 宮崎県栄養士会
宮崎県訪問看護ステーション連絡協議会中央ブロック 宮崎県社会福祉士会
宮崎県精神保健福祉士会 宮崎県介護福祉士会 宮崎県介護支援専門員協会
宮崎県老人デイケア連絡協議会 宮崎市介護支援専門員連絡協議会
宮崎市訪問介護事業者連絡協議会 特定非営利活動法人ホームホスピス宮崎

公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団 助成事業

プログラム

●開会 13:00～

開会挨拶 宮崎キュアケアネットワーク代表世話人 牛谷 義秀
来賓挨拶 宮崎市役所健康管理部 部長 伊藤 芳郎 様
宮崎県理学療法士会 会長 中田 洋輔 様

●第1部

講演「自分らしく、未来へ！」

講演者：柳田 哲志 氏

座長：牛谷 義秀 先生（クリニックうしたに）

●第2部 14:20～

シンポジウム「豊かな人生の最期のために」
～生活リハビリを通して～

座長：坂本 増美 氏（三愛園在宅介護支援センター）
花田 英稔 氏（潤和会記念病院）

シンポジスト：石川 智信 氏（いしかわ内科 医師）
坂本 郁代 氏（こどもとおとなの訪問看護
ろけっと★ステーション 看護師）
金納 健次郎 氏（株式会社エンラボ 精神保健福祉士）
金子 茂稔 氏（デイサービス未来園 作業療法士）
日隠 由美子 氏（潤和会記念病院 理学療法士）
森本 研二 氏（有限会社エスペリエツア 介護福祉士）

●閉会 16:30

閉会の挨拶

実行委員長 岩田 勝利

【講師プロフィール】

柳田 哲志 (やなぎた てつし)

1967年佐土原町生まれ

1991年同志社大学卒業後、UMKテレビ宮崎入社

2008年脊髄損傷受傷

2011年受傷後、テレビ出演を果たす

2012年レギュラー番組へ復帰

現在、テレビ出演やナレーターの仕事のかたわら、ボッチャでのパラリンピック出場に向けた活動、およびボッチャの普及活動に向け、精力的に活動されている。

※ボッチャとは

ヨーロッパで生まれた重度脳性麻痺者もしくは同程度の四肢重度機能障がい者のために考案されたスポーツで、パラリンピックの正式種目です。

宮崎キュアケアネットワーク

<http://www.mcc-net.org/home>

【目的】

本 ML(メーリングリスト)は、宮崎の医療・介護・福祉の現場で働かれている皆さんが在宅に関する情報や意見交換をメーリングリストを通じて行い、地域における多職種間の連携を円滑に進め、在宅医療の運用、関係機関との信頼関係を構築することを目的とします。

【会員資格】

医療・介護・福祉の現場で実際働いていて、在宅に興味があり、当会の規約(ホームページをご覧ください)に了解頂いた個人なら誰でも参加することができます。具体的には、医師、歯科医師、薬剤師、看護師、歯科衛生士、PT/OT/ST、ケアマネジャー、社会福祉士、介護福祉士、ヘルパー、民生委員、薬剤メーカー、福祉器具メーカー、医療器具メーカー、患者さんのボランティア等の方々の、個人として参加をお願いします。

会社、公的機関としての参加はご遠慮下さい。

【会員申し込み方法】

本 ML 会員からのご紹介及び今回の『住み慣れた所で最期まで安心して過ごしたい』にご参加いただいた方とします。ホームページ内の入会申し込みフォームからか、ご紹介者から本 ML 管理者宛(owner@mcc-net.org)に紹介メールを送ってもらってください。追って、入会案内のメールを送ります。

ご参加いただいた方は、件名に『H26年11月研修会参加者』とご記入の上、本 ML 管理者宛(owner@mcc-net.org)にメールを下さい。

豊かな人生の最期のために

第6回
市民参加型
フォーラム

「在宅医療」知っていますか？ 最期まで家で療養したい人に。

参加費
無料

平成27年 **10/25** (日)

午後1時00分～午後4時30分(会場12時00分)
宮崎市佐土原総合文化センター大ホール
宮崎市佐土原町下田島20527番地4 (TEL) 0985-72-2998

テーマ 「在宅医療」知っていますか？最期まで家で療養したい人に。
生活リハビリを活用して、家で普通の生活をとりもどそう！

申し込み方法

裏面の申し込み用紙にて、宛先までFAXにてお申し込みください。

訪問看護ステーションらふたーらいふ

(FAX) **0985-35-7411**

お問い合わせ

2015年度市民参加型フォーラム事務局

訪問看護ステーションらふたーらいふ 担当：岩田勝利

TEL:0985-35-7410 E-mail:laughterlife-iwata@ae.auone-net.jp

※お電話は、平日8:30～14:30の時間をお願いします。



○ 講師 柳田哲志氏 (13:00～14:00)
講演「自分らしく、未来へ！」

○ シンポジウム (14:20～16:30)
「豊かな人生の最期のために
～生活リハビリを通して～」



画:おさない照葉

主催 / 宮崎キュアケアネットワーク 共催 / 宮崎県理学療法士会 宮崎県作業療法士会 宮崎県言語聴覚士会
(後援) 宮崎県 宮崎市 宮崎県医師会 宮崎県歯科医師会 宮崎県薬剤師会 宮崎県看護協会 宮崎県医師会在宅医療協議会 宮崎県訪問看護ステーション連絡協議会 宮崎県介護支援専門員協会
宮崎県精神保健福祉士会 宮崎県介護福祉士会 宮崎県社会福祉士会 宮崎県栄養士会 宮崎県訪問看護ステーション連絡協議会中央ブロック 宮崎県老人デイケア連絡協議会
宮崎市医師会 宮崎市郡歯科医師会 宮崎市郡薬剤師会 宮崎市介護支援専門員連絡協議会 宮崎市訪問介護事業者連絡協議会 特定非営利活動法人ホームホスピス宮崎

※この講演会は、公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団の助成を受けて開催されます。

「在宅医療」知っていますか？ 最期まで家で療養したい人に。

日時

平成27年 **10/25** (日)
午後1:00~4:30 (会場12:00)

対象者

一般市民 医師 歯科医師 薬剤師 保健師 看護師 介護支援専門員 社会福祉士 介護福祉士 ソーシャルワーカー ヘルパー 理学療法士 作業療法士 言語聴覚士 精神保健福祉士 栄養士
そのほか在宅医療 在宅ケアの実践者及び興味のある方等々
定員600名 (※定員に達し次第締め切ります。)

参加費

無料

講師

柳田哲志氏

テレビ宮崎のアナウンサー。
宮崎県佐土原町(現在の宮崎市)出身。
同志社大学卒業後の1991年にテレビ宮崎へ入社。



場所

宮崎市佐土原総合文化センター大ホール

宮崎市佐土原町下田島20527番地4
(TEL) 0985-72-2998

- 電車
JR 佐土原駅下車→徒歩 5分
- バス
○宮崎市街方面より
光陽台行き→広瀬台下車→徒歩 3分
高鍋行き→佐土原駅前下車→徒歩 5分
○西都市方面より
佐土原高校行き→広瀬台下車→徒歩 3分
○高鍋町方面より
宮交シティ行き→佐土原駅前下車→徒歩 5分

豊かな人生の

最期のために。

一般市民に広く生活リハビリの存在や方法を周知することで、最期までできるだけ自分らしく在宅生活を送るためにどのような方法があるか知ってもらい、**最期まで自分らしく生ききる**きっかけとなるよう、市民参加型フォーラムを通して市民の皆様が啓発していくことを目的として開催いたします。



宮崎キュアケアネットワークとは？

在宅医療を実践されている有志の先生が中心となって、訪問看護師やケアマネジャー、薬剤師等に声をかけ、他職種間の連携・情報交換をしようと草の根運動として設立されました。メーリングリストを中心に在宅医療、在宅ホスピス、緩和ケア、在宅介護、在宅難病等、在宅全体を学習し、情報交換する連携の場です。在宅において日頃、困っていること、悩んでいること、疑問に思っていることをみんなで話し合い、その解決の糸口を見つけながら、最新情報や意見交換を通じてお互いを理解し支え合う、生きたネットワークを目指しています。

訪問看護ステーション らふたーらいふ

第6回市民参加型フォーラム参加申し込み書

0985-35-7411 (FAX)

お名前	連絡先 (電話番号)		() —
	参加総数	名	所属 (職業、団体、学校等)

※この参加申込書で知り得た情報は、本業務を行う目的以外に利用しません。